

令和7年度第1回川崎市上下水道事業経営審議委員会 会議録

【開催日時】

令和7年4月28日（月）10:00～11:43

【開催場所】

川崎市役所南庁舎18階大会議室

※オンライン（Zoom）併用開催

【議題】

- （1）次期上下水道ビジョン・中期計画の策定について
- （2）水道事業及び下水道事業の料金制度等のあり方について

【出席者】

- （1）委員会委員（敬省略）※オンライン出席者

井出多加子※、鎌田素之※、長岡裕、中野英夫※、西川雅史※、見山謙一郎※、石山一可、岩澤達夫、島田典子、舘克則、渡部さと子、伊藤真冬※、山下美穂

- （2）上下水道局職員

上下水道事業管理者、担当理事・下水道部長、経営戦略・危機管理室長、総務部長、総務部担当部長（財務担当）、サービス推進部長、水道部長、水管理センター所長、下水道部担当部長（下水道施設）、経営戦略・危機管理室担当課長〔経営戦略・企画調整〕、経営戦略・危機管理室担当課長〔料金・使用料制度〕、経営戦略・危機管理室担当課長〔行政改革推進〕、庶務課長、財務課長、財務課担当課長〔下水道財務・財源〕、サービス推進課長、水道計画課長、下水道計画課長

【傍聴者】

3人

【議事内容】

次のとおり

事務局 定刻となりましたので、令和7年度第1回川崎市上下水道事業経営審議委員会を始めさせていただきます。私は、事務局を務めさせていただきます、経営戦略・危機管理室の森川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議につきましては、オンラインと併せての開催となっており、井出委員、鎌田委員、中野委員、西川委員、見山委員、伊藤委員おかれましては、オンラインで御出席いただいております。

なお、本日の会議でございますが、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定に基づき、公開とさせていただきますので御了承願います。

また、会議終了後、議事録を作成いたしますが、こちらも原則公開となっておりますの

で、事務局で作成後、各委員に内容を確認していただいたのち、確定させてまいりたいと考えております。

なお、本日は傍聴の申し出がございますので、傍聴人の入室を認めてよろしいでしょうか。それでは、傍聴人の方に入室していただきます。

オンラインで御出席の皆さま、音声は聞こえておりますでしょうか。オンラインで御出席の皆さまの資料につきましては、御説明の際に画面共有をさせていただきます。事前に電子ファイルでお送りした資料につきましても、必要に応じて御確認いただければと存じます。

また、ネットワークへの負荷低減のため、事務局からの御説明の時間などにつきましては、ビデオを停止し、マイクをミュートにさせていただきますよう、お願いいたします。

なお、御発言の際は、ビデオを開始し、挙手いただくか、挙手ボタンを押していただきますよう、お願いいたします。委員長から指名いたしますので、御発言をお願いいたします。

続きまして、会場にいらっしゃる委員の皆様の資料につきましては、皆さまのお手元でございますタブレットで閲覧していただきます。

なお、操作方法等について御不明な点等ございましたら、随時、お近くの事務局職員にお声掛けくださいますようお願いいたします。

また、オンライン出席者に声が聞こえますよう、御発言の際にはマイクを近づけて発言していただきますようお願い申し上げます。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

はじめに、白鳥上下水道事業管理者から御挨拶を申し上げます。

事業管理者

改めましておはようございます。ただいま御紹介に預かりました白鳥と申します。

この4月から事業管理者に就任しております。大澤に引き続きよろしくお願いいたします。

本日は連休の合間に御出席いただきましてありがとうございます。開会にあたりまして一言御挨拶をさせていただきます。

本日の議題でございますが、「上下水道ビジョン」及び「上下水道事業中期計画」の策定状況、また昨年度から御議論いただいております「料金制度等のあり方について」の中間報告となります。現在の日本の社会を見てまいりますと、30年間の停滞を脱して、物価上昇や金利の要因により急激に変化してきている状況と感じております。上下水道の施設に関しても、埼玉県の下水道管破損による大規模な道路陥没事故や、所沢市での水道管破損による道路冠水のような、施設の老朽化の課題が大きく見える現状となっております。このような課題にしっかりと対応するための、極めて重要な議題となっております。

引き続き委員の皆様の率直な御意見を賜りたいと存じます。

開催にあたりまして、簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局

次に長岡委員長から一言御挨拶をいただければと存じます。

長岡委員長よろしくお願いいたします。

長岡委員長

委員長の長岡でございます。引き続きよろしくお願いいたします。

本日の議題は事業管理者からお話がありましたとおり、「上下水道ビジョン」「上下水道事業中期計画」、「料金制度等のあり方について」ですが、やはり重要なのは市民の皆様に、上下水道事業の現状を知っていただいて、これからの上下水道事業をわかりやすく説明していくことだと思っております。こうしたことから引き続き、委員の皆様から率直な御意見をいただきたいと思っております。

料金制度のあり方については、部会の中でもさまざまな御意見がありますが、委員の皆様から率直な御意見をいただきたいと思っております。

川崎市上下水道にとってよりよい体系を作っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、今年度の最初の経営審議委員会ということで、人事異動に伴い職員も入れ替わっておりますので、本日出席しております上下水道局の職員を御紹介させていただきます。

担当理事・下水道部長の松川です。

経営戦略・危機管理室〔経営戦略・企画調整〕担当課長の坂手です。

経営戦略・危機管理室〔料金・使用料制度〕担当課長の吉田です。

経営戦略・危機管理室〔行政改革推進〕担当課長の藤松です。

総務部長の山梨です。

庶務課長の寺岡です。

財務担当部長の梁取です。

財務課長の松田です。

財務課〔下水道財務・財源〕担当課長の宮森です。

サービス推進部長の松永です。

サービス推進課長の星野です。

水道部長の筒井です。

水道計画課長の山原です。

水管理センター所長の岸です。

下水道施設担当部長の小林です。

下水道計画課長の江口です。

以上が本日の局側の出席者となっております。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、要綱によりまして、委員長が議長となりますので、ここからの会議の進行につきましては委員長、よろしくお願いいたします。

長岡委員長 それでは、本日の議題に入らせていただきます。

議題１の「次期上下水道ビジョン・中期計画の策定について」、事務局から説明をお願いいたします。

経営戦略・危機管理室担当課長 （資料１～４を説明）１０：１０～１０：３３

長岡委員長 ありがとうございます。それではただいまの議題の説明について、何か御意見・御質問等ございましたら、お願いいたします。

また、オンラインで御出席の方におかれましては、御意見・御質問等ございましたら、

挙手ボタンまたはカメラをオンにいただき、挙手をお願いいたします。

上下水道ビジョンについて、このような項目を入れてほしいなど御意見等あればお願いいたします。

館 委 員 資料1のP4について、次期上下水道ビジョンの2つ目に事業を取り巻く環境と課題があり、P7では自然環境がその他でカテゴリー分けされています。自然環境は10年後、20年後は誰も予想できない不明瞭なものであるとは思いますが、その他にまとめるのではなくひとつの検討課題として枠を出しても良いのではないかと思います。

長 岡 委 員 長 確かに、環境がその他になっているので、もっと表に出してほしいということですね。他にはいかがでしょうか

伊 藤 委 員 資料2のP6や資料3のP4にあるように市民への伝わりやすさ、わかりやすさを重視していることが伺えます。私のように説明を受けた上で資料を見ると理解できますが、市民の方は初見で専門用語の理解が難しく分からないのではないかと思います。全体的に分かりやすい言葉を使っていいただければと思います。

長 岡 委 員 長 私も専門用語を使うことがあるので、専門用語を使用する際は聞き手の理解に配慮していただければと思います。

経営戦略・危機管理室担当課長 日常的に専門用語を使ってしまうところがあるので、用語解説等を取り入れながら策定を進めていきます。また、わかりにくさの要因としまして、現中期計画は約200ページ、上下水道ビジョン中期計画は約250ページというページ数の多さがあり、すべてを読むことは難しいと感じていますので、わかりやすさと簡素化をしていきます。

石 山 委 員 上下水道ビジョンについて、わかりにくいという印象を持っていて、上下水道にとって何が問題か、問題解決にはどのように取り組んでいくか、何が困難なのかを最初に示してから、詳細に入っていくような構成にした方が理解しやすいのではないかと思います。施設に関することが多く記載されているので、水質に関することなど市民の関心とすり合わせを行いながら、一番伝えたいことを記載していただきたいと思います。

長 岡 委 員 長 分かりやすくなっていると思いますが、全て読まなければ分からないという視点もあるので、このようなご意見を踏まえて検討してほしいと思います。

見 山 委 員 印象が守りの雰囲気になっているので、イノベートな要素を入れていったほうが良いのではないかと思います。川崎市はこの国の上下水道をリードしていく立場となつてほしいと思っているので、全国に先駆けて専門要素や研究分野と連携し取り入れることを考えていただきたいと思いました。

長 岡 委 員 長 DXでも取り上げていたりしているが、どのように組み込むかが難しいところです。

見 山 委 員 「DX」は大枠な言葉になっていて、具体的にどのようにAIなどを活用していくのが重要になってきています。

経営戦略・危機管理室担当課長 御意見ありがとうございます。上下水道ビジョンでDXの方向性を示したうえで、中期計画でもDXについて具体的に盛り込み、お示ししていきたいと思っております。

山 下 委 員 概要版を作っている自治体があるので、A41枚程度で分かる資料を作ってもいいのではないかと思います。さまざまな自治体の資料を読んでも、専門用語の補足自体が分かりにくく、また補足の数が多いと理解しにくいと感じました。読んでもらう対象者を分けて、市民向けのページについては簡単な言葉へ言い換えた説明、専門知識がある方にはこれまでどおりの説明など、市民目線と専門家の方の目線を分けた構成を取り入れても

いいと思いました。両方を取り入れるのは難しいと思いますがご検討いただきたいです。

長岡委員長 アスタリスクを使用した注釈などは分かりにくく、用語集等での補足を加えるより、用語を言い換える方法が、読み手に親切な対応だと感じましたので、そのように対応していただきたいと思いました。

経営戦略・危機管理室担当課長 承知しました。ご意見を踏まえて、本編でわかりやすい説明を取り入れ、市民の方に説明できるように工夫を行っていきます。

館委員長 資料3のP4について、統合の項目に「危機管理対策」とありますが、統合ではなく細分化した方が分かりやすいと思いました。例えば「水道・工業用水道の危機管理対策」と「下水道の危機管理対策」について、資料3のP6の取組24・25に新しく取組が記載されていますが、現中期計画の取組内容のほうが分かりやすいと感じました。

資料を簡素化することと、分かりやすく伝えたいことが混在して分かりにくくならないように、私は細分化がいいのではないかと思います。

長岡委員長 このような御意見を踏まえて、分かりにくくならないようにお願いします。

他に質問がないようなので次の議題に移ります。議題2について事務局から説明をお願いします。

経営戦略・危機管理室担当課長 (資料5を説明) 10:49～11:20

〔料金・使用料制度〕

長岡委員長 ありがとうございます。それではただいまの議題の説明について、何か御意見・御質問等ございましたら、お願いしたいと思いますが、私から進行について1つ提案がございます。

委員会と部会を兼務している学識者委員の方は、部会でこちらの議題について検討してきております。団体推薦、公募委員の方は本日初めて説明を聞くと思いますので、まずは団体推薦、公募委員の方の意見を受けてから、事務局の回答をいただく進行にしたいと思いますがよろしいでしょうか。

まず、石山委員からよろしくお願いいたします。

石山委員 上下水道事業のコストについては記載されているでしょうか。

経営戦略・危機管理室担当課長 今回の中間報告では料金制度の議論になりますので、コスト面については、今後部会を複数回開催していく中で議論していきます。

岩澤委員 自宅周辺で水道管の工事を行っているのを見て将来の安心につながりましたし、料金改定はこのような面に反映されているのだと感じました。

また、料金の支払い時に請求額に疑問を抱くことがあるので、使用料の内訳が記載されていると便利であると思いました。

島田委員 他の自治体よりも川崎市は安いけれど、大口の企業が減少することで小口の個人の負担額が高くなってしまっているんですね。

また、水道料金のはがきに水道と下水道の内訳が記載されているのは今後も続けていただきたいです。

館委員長 言葉の確認をさせていただきたいのですが、資料5のP22に単一料金制の「大口使用者と小口使用者」の分け方と、P23の右下口径別料金制について、13mmと20mmの分けについて教えてください。

渡部委員 議題1と議題2に関連する質問になりますが、修繕工事について上下水道局の人が直

接対応しているとお聞きしました。物価高騰や人材確保により財政が厳しいと思いますが、民間委託はどのような方向性で検討しているのか教えていただきたいです。

また、P26の「調定水量」の言葉の意味を教えてください。

伊藤委員 料金体系比較の表は、他都市と比べることができて分かりやすいと思いました。

山下委員 資料の中で他都市との比較がありますが、市民としてはそもそも川崎市の料金が安いのか高いのか分からないと感じました。これは料金制度を改定してからの市民への伝え方、PR方法についてになりますが、例えば2人世帯だといくらで、他都市と同じ条件で比べたらこの程度であるなどの説明があれば伝わりやすいのではと思います。

長岡委員長 御質問について、事務局から回答をお願いいたします。

経営戦略・危機管理室担当課長  
〔料金・使用料制度〕 大口が減少して小口の負担が大きくなっていくことに関し、大口を構成する、工場、事務所等のいわゆる事業所の数は減っています。また、臨海部の大口事業者へヒアリングした際には、過去に比べ、大幅な節水を行っていることを伺っています。安定的な経営を見据え、増進度を緩和すると小口の負担が増えることは否めませんが、一方で、低廉な生活用水・排水の維持ということも我々事業者の使命ですので、そのバランスのとれた体系にしていきたいと考えております。

大口と小口の分けについてですが、使用する資料によって異なりますが、月の使用水量51立方メートル以上が大口とされております。

口径の分けについてですが、13～25mmは主に一般家庭が使用しています。戸建てですと25mmです。

調定水量についてですが、水道メーターの検針により、調査・使用して決定された水量です。使用量のことになります。

経営戦略・危機管理室担当課長  
〔行政改革推進〕 民間の委託ですが、民間も人件費が上がっているため、局内の業務改善を踏まえコスト比較を行いながら担い手の検討をしていきます。必ずしも職員ができなかった分を、民間に委託する方針ではなく、柔軟な検討をしていきます。

長岡委員長 その他にありますでしょうか。

渡部委員 川崎市職員の方が直接工事をしていただいているのは、市民としては安心できるので、可能なら今後も職員の方が対応いただけると安心です。

長岡委員長 上下水道ビジョンについて、10年後だけでなく50年後についても検討して、上下水道事業がどうあるべきか長期的に考えたほうがいいのではと思いますが、今回は10年後の検討だけなのではないでしょうか。

経営戦略・危機管理室担当課長 次期中期計画の策定に向けた局内ディスカッションの内容を踏まえて、30～50年後を考えていき、10年間の中期計画に落とし込んでいきたいと考えております。

長岡委員長 上下水道ビジョン等の周知について、ペーパーレスを検討しているそうですが、電子媒体へのアクセスはしにくいという視点を持ってほしいです。電子化したから見やすいということではなく、大きなポスターや簡易的な概要版などを作成すると市民の目に留まりやすくなると思います。

館委員 料金制度関係について、今回はシミュレーションをしたデータを出していただきたいです。また、市民に対して料金改定をどのようにPRしていくのでしょうか

経営戦略・危機管理室担当課長  
〔料金・使用料制度〕 シミュレーションは答申で公表していきます。PRについては、広報紙ほかSNSなどを活用して広報していけたらと考えております。

長岡委員長      ありがとうございました。

それでは以上で本日の会議は終了となりますので、事務局へお返しいたします。

事務局      長岡委員長、ありがとうございました。

また、委員の皆さまにおかれましては、貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。次回の経営審議委員会の開催日につきましては、8月ごろの開催を予定しております。後日、皆様と日程調整をさせていただきながら決定したいと考えておりますので、その際は御協力をお願いいたします。

また、部会員の方におかれましても、今後、日程調整をさせていただきますので、お忙しいところ恐れ入りますが、そちらについても御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、本日はありがとうございました。11：43 閉会